

# 最前線 京滋ビジネス

## ベンチャー

パナソニックの照明部門の技術者らで3年前に立ち上げたLED(発光ダイオード)照明のベンチャー。主に工場用や看板用などオーダーメイドを中心に請け負い、最近では既製品の製造、販売にも力を入れている。飯田史朗社長は「LEDで社会に貢献したい」と意気込む。

主力商品の一つは、病院やオフィスなどの天井に設置する薄型のLED照明だ。天井に穴を開けて埋め込む蛍光灯と違い、厚さ2センチと薄いため天井にそのまま据え付けできる。化学繊維大手のクラレ(東京)が光を効率良く拡散させるアクリル板を開発し、商品化に向けて協力した。

社長

いいだ 飯田

しろう 史朗 さん



埼玉大工学部 卒。1991年松下電器産業(現パナソニック)入社。液晶テレビ用LEDバックライトなどの開発を担当。2012年7月に退職し、13年2月に飯田照明を設立。49歳。

## 飯田照明

(京都市山科区)



飯田照明が展開する薄型LED照明(右端)などの製品

# 特殊蛍光灯 LED化へ

がらせられるほか、樹脂の硬化やおびき寄せにも活用できる。LED製造大手の日亜化学工業(徳島県)と共同開発し、カラオケボックス用の照明や捕虫機などへの採用を目指している。

3月には、優れた起業家を育成する京都市ベンチャー目利き委員会がAランク認定を受けた。委員会では、「クリンルーム用」や「葉タバコ」など特殊用途向け蛍光灯のLED化計画を発表した。

飯田社長は「特殊蛍光灯はLED化が進んでいない。LED化すれば省エネ化でき、地球環境保護にもつながる」と意気込む。今後は画像処理用光源や医療用装置への参入も検討している。

いる。LEDは国内より海外市場で拡大が見込まれるため、駐在経験のある社員を通じてインドネシアに進出し、アジアに展開することも視野に入れている。

現在、社員は10人。パナソニック出身者が多く、電源や回路など自社設計できる開発力が強みだ。飯田社長は「パナソニックでは一つの製品開発に時間がかかったが、退職してから、それが品質の高さにつながっていたのだと分かった」と振り返る。

現在、1億円ほどの売上高だが、10億円以上を目指す。新社屋も建設中だ。飯田社長は「創業当初は苦労したが、一生懸命やれば結果が出る。これからは『何でもやる』の精神で、目の前のチャンスに挑戦していきたい。」(三村智哉)

充電で自走

カラトミーは、自走するカートとコースレイアウト



サイズでは初の充電式自走タイプ。付属の

小売価格は6480円。

トマトの酸味とうまみ

口津食品は「カットトマト」



わいに仕上げた。トマトやパプリカなどを具材に使用